



ひよこぐみだより

第9号

平成 27 年 12 月 10 日(木)

朝夕ぐっと冷え込み、今年は長かった秋もようやく冬へ移り変わろうとしているのを肌で感じます。このような季節の訪れを感じながら園庭でも元気に遊んでいます。

12月18日は、ひよこぐみの子どもたちにとって初めての生活発表会があります。お名前を呼ぶと「はい」と手をあげて、音楽に合わせて身体を動かすのも上手になりました。この可愛い姿をお父さんお母さんに見てもらいたいと思っています。

今月は、生活発表会、クリスマス会と楽しい行事があります。子どもたちと一緒に楽しいものにしたいと思います。



ブロック遊び大好き

可愛い小さな手で、ブロックを上へ組み合わせようと集中しています。指先を使い、上手に重なったときには、保育士の顔を見上げ“上手でしょ”と誇らしげな表情を見せてくれる子どもたちです。次はどんな成長を見せてくれるか楽しみです。



歩けるようになった子どもたちは、世界がぐーんと広がってきます。園庭に出るとどこまでも自分が行きたい所へ目を輝かせて進んでいきます。楽しくてしかたないことが表情からも伝わってきます。次々にいろいろなものを見つけ触ったり 眺めたり・・・木の枝や様々な形をした石でさえ、子どもたちにとっては宝物です。好奇心旺盛な子どもたちに少しずつ自然に触れるチャンスを増やしたいと思います。

早いもので 2015 年も残すところ 1 ヶ月となりました。ひよこぐみがスタートした 4 月から保護者の皆様にはご理解、ご協力いただきありがとうございます。来年もよろしくお願ひします。楽しいお正月をお過ごしください。

ひよこぐみ担任 福岡、中村(亜)、山田



すみれぐみだより

第9号

平成27年12月10日(木)

お芋のスタンプで遊んだよ。…「手先を使った遊びを楽しむ」

たんぼぼ組の子ども達が、芋ほりをした時に収穫したお芋をすみれ組にも「どうぞ」と分けてくれました。子ども達は、そのお芋を見て、「うんとこしょ」と目を輝かせながら引っ張る真似をしたり、手で持ってみたりと、とても喜んでいたので興味を遊びに取り入れ、お芋でスタンプ遊びをしました。みどり色の色画用紙に芋スタンプを「ぺったん、ぺったん」と言いながら押ししたり、「この芋が良い」と大きい芋を選んだりしていました。可愛いクリスマスツリーができましたよ。



「してー」から「する」へ

ブロック遊びが大好きな子ども達。今までは「先生つくって」、「してー」だった言葉が、「自分でする」、「〇〇がする」に変わって来ました。私たちが手伝おうとすると叱られます。保育士3人は見守る事にしました。手洗いや、着替えなども出来るところは自分でできるようになってきています。洋服のボタンかけ遊びにも挑戦しています。お家でも出来たら認めてやって下さいね。

大好きな絵本の紹介

「はーくしょい」 せな けいこ著
ルルちゃんが、風邪をひきました。どうしたら、治るのかなあ…「ちちんぷいのちちんぷい」と魔法使いの言葉を保育士が言うと、子どもたちも真似して「ちちんぷい」と指をクルクルと回しながら言ったり、「はーくしょん」とくしゃみの真似をして喜んでいきます。



生活発表会へ向けて

「保育士や友だちと一緒に歌ったり、ずずをならしたりするのを楽しむ」

「カレーライス之歌」や、「げんこつ山のためきさん」等の手遊び、又、わらべ歌あそび「むすんで、ひらいて」「おったこ」「なべなべそこぬけ」等、日頃子ども達が楽しんでいる遊びを発表会では見て頂けたらと思っています。わらべ歌では、目や鼻、口、肘等身体の部位を歌に合わせて確かめたりも出来るようになりました。



担任 今丸, 唐木, 草場



H27.12.10(木)

表現あそびをしています。

冬至が近くなり夕方暗くなるのも早く、寒くなってきました。12月は、気温や体調に気をつけながら子どもたちが快適に過ごせるようにしたいと思います。子どもたちは、生活発表会に向けて絵本「3びきのやぎのがらがらどん」「バスがきました」「ねずみのでんしゃ」のお話をもとに登場する様々な動物になり表現あそびを楽しんでいます。動物のお面をかぶり歌をうたったり、絵本の中に出てくる台詞を言ったり…。3冊の絵本を読むと、保育士と一緒に台詞を言っています。内容をよく覚えているなど感心しています。今は保育室の中で練習していますが、遊戯室のステージでも練習してみようと計画しています。

小さなお母さん

お部屋の入り口前にままごとコーナーを作りました。人形や布団、炊飯器などを置いています。子どもたちは、人形をおんぶ紐でおんぶしたり、マットの上に寝かせ布団をかけたり、炊飯器の中に丸いポンポンをいれご飯を作ったりとそれぞれ好きな遊びをしています。赤ちゃんの人形をおんぶすると「みて、〇〇ちゃんの赤ちゃんよ」「今ね、お熱があると」とバンダナを熱さまシートのようにおでこにのせて保育士に見せにきたり、「お姉ちゃん、ご飯出来たわよ～」とお皿に食べ物をのせたりしています。まるで、本当のお母さんのような話し方や仕草なので、見ていて温かい家庭の様子を感じています。



「おらんね～」

園庭で遊んでいた日のことです。虫探しが大好きなK君。園庭に出るといつも芝生や木の下でだんご虫やバッタを探しています。最近寒くなり、虫の数も減ってきました。K君は一生懸命探しますが見つかりません。すると一緒に遊んでいたAくんに「だんご虫おらんね」「寒いけ隠れとるんかねえ？」と2人で話していました。何かしらと冬の自然を肌で感じているようです。

もうすぐクリスマス

クリスマスまであと少し。子どもたちはお部屋の壁に貼ってあるツリーをみて、「もうすぐサンタさん来るんよね」「〇〇くんのお家にもツリーあるよ」「〇〇ちゃん、サンタさんにアンパンマンのおもちゃお願いする」など話していて、クリスマスを心待ちにしています。



担任：藤田、崎野、有菌、萩尾

☆第9号☆



平成 27 年 12 月 10 日 (木)

今年も残り 1 カ月となりました。友だち同士上手く気持ちが伝わらず、トラブルになることもありますが、今では少しずつ相手の気持ちに気づき、「どうしたの？」などと優しく声をかけたりして、相手の気持ちに寄り添う心が育ってきたように感じます。寒さも厳しくなってきましたが、子どもたちのそんな姿に心が温かくなります。12 月は先月に引きづき、今年度の 3 歳以上児の生活発表会のテーマでもある「思いやり」を目標に子どもの育ちを支えていきます。

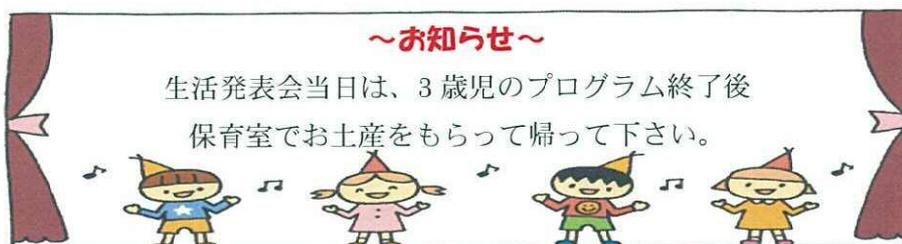


寒さなんてへっちゃら!

冷たい風が保育室に入ってきたときのことです。そんな冷たい風を受けて「うわー！今日寒いね！」と話していた子どもたち。すると Sくんがタオルを持ってきて「1. 2. 3. 4!」と乾布摩擦を始めました。それをみていた他の子どもたちもタオルを持ってきて身体をこすり始めました。あっという間に寒さは吹き飛び、「寒くなくなったね」「なんか暖かくなった」と自分たちで考え“あたたまり法”で少し火照った顔の子どもたちでした。

ネズミの嫁入り

子どもたちも大好きなお話で、「先生これ読んで!」とよく保育士に絵本を持ってきていました。今ではストーリーも覚えてきて、遊びの中で物語を再現して遊んでいる姿が見られます。友だちとネズミの嫁入りの絵本のページをめくりながら、「世界で一番偉いのは、どなたですか」「それはおひさまです」「いやいや、私は世界で一番偉くはありません」などと、登場人物になって、セリフのやりとりを楽しんでいます。それぞれが自分なりの言葉でセリフを言ってみたり、振りを考えたりしています。子どもたちの素敵な表現がたくさん生活発表会を楽しみにしていただいね。



3 歳児担任：田中・桑原

ひまわりだより 12月号



H27.12.10(木) 発行

12月に入りクラスでは発表会に向けて、子どもたち同士でセリフを言い合ったり、音楽に合わせて踊りの練習をしたりしています。

発表会のテーマ「思いやり」を心にとどめながら、子どもたちが日常の生活で苦手なことがあると、その事から避難しようとしてしょげたり泣き出したりしてしまいがちですが、この一年間の行事を経験し乗り越えることでクラスのみんなの力強さを感じながら、目標に向かって達成できた喜びを共感し、それぞれの自己確立が育っているように思えます。

自分だけの存在だけでなく周りの人たちによって支えられていることに気づき、感謝の気持ちを表現できる子どもたちです。



～口ずさんでいるわらべうた～

両手を合わせた中にビー玉を入れて♪おてぶしてぶし てぶしのなかにへびのなまやけかえるのさしみ いっちょばこやるから まるめておくれ いや♪と唄い、最後の「いや」と同時に左右の手のどちらかにビー玉を入れて、どちらに入っているか当てる遊びがあります。子どもたちはそのわらべうたが好きで、よく口ずさんでいます。

わらべうたは、昔の子どもたちが作った歌なので覚えやすく子どもたちも、いろいろなわらべうたを唄っています。独り言のように何か言っているなと気づいたら、そっと耳を傾けてみてください。きっと好きなわらべうたを唄っていますよ。

消防自動車ってカッコいいな！

11月30日に消防隊が来園されて消防総合訓練がありました。

子どもたちは消防士が話されるのを真剣に聞いて「大きくなったら消防士になる！」と応じる子どもたちに「待ってるよ、頑張ってるね」とあたたかい言葉をかけられて憧れの思いが強くなったようです。

車両見学では、特殊な機材がたくさんあり「これは何するものですか？」といろいろと質問していました。ヘルメットや防護服を着せてもらい「カッコいいな」と言って目を輝かせている子どもたちでした。



ひまわり組担任：河内・井上



「泣いた赤鬼をしよう！！」

『浜田 廣介』が書いた代表作に“泣いた赤鬼”という話があります。子どもたちはこの話が大好きです。

このお話は、村人たちとどうしても仲良くなりたい気のいい赤鬼。だが、村人は赤鬼の優しさがわからず、怖がって逃げ回るばかり。孤独と寂しさに耐えきれなくなった赤鬼は、悩んだ末、親友の青鬼、黒鬼に相談をする。青鬼と黒鬼のアイデアで赤鬼は村人たちと仲良く遊びみんなと心を通わせる。

だがその幸せも束の間、赤鬼に思われぬ、そしてあまりにもほろ苦い結末が訪れます・・・。

私がこの物語を読んだ時の事です。涙を流しながら聞いている子どもがいました。「先生、このお話悲しすぎるよ」「友だちからぼこぼこ叩かれていたかっただろうな。「僕は友だちを叩いたりできない」「赤鬼くんも何にもしてないのに逃げられて悲しかっただろうな」と胸にひびいた感想を聞きました。私はこの19名の子ども達が、この思いを秘めて表現する劇の光る思いを皆様に伝わるように台本作りをしました。

この生活発表会では、子ども達の清らかさと豊かな創作を皆様の心に届けられたらと思います。



『感謝の気持ちを伝えよう！』

この間、消火訓練がありました。消防士さんに感謝の気持ちを伝えたいと言う子ども達の思いで、みんなでメッセージを書きました。すると、山田さんが「お守りを作ろう！」とアイデアを出しました。「火の中に入って人を助けて下さるから、消防士さんも怪我をしてほしくないから」とすると、「そうだね、お守りを作ったら消防士さんの命を守ってくれるはず」と思いを込めてお守りも作りました。消防士さんは、とても喜んで下さいました。

子ども達には、これからも感謝の気持ちを忘れずに成長してもらいたいと思いました。



今年も残りわずかとなりました。子どもたちは、相手の事を考えられるやさしくて思いやりのある素敵な子どもたちに育ちました。

保護者の方々のご協力に感謝しています。ありがとうございました。

来年もどうぞ、よろしくお願いたします。

